

離床アドバイザー 1 年取得ゼミナール

2023 年 GuideBook



2023 ゼミナール生 スケジュール

開講式

開講式	1 月 8 日 (日)	オンライン(講座終了後)
-----	-------------	--------------

第 13 回全国研修会・学術大会	6 月 24 日 (土) 予定	現地・オンラインハイブリッド形式 (予定)
------------------	-----------------	--------------------------

実技スクーリング	未定 予定	オンライン(予定)
----------	-------	-----------

修了式

教育セミナー後	未定 予定	オンライン(予定)
---------	-------	-----------

※開講式ではゼミナールについての説明、修了式では修了証の授与を行います。
ゼミナール生間の親睦を図るため極力スケジュールの調整をお願いいたします。

臨床を元気にする 不必要な臥床を無くすために

離床を進めるリーダーとなるスタッフ「離床アドバイザー」の資格を短期間で集中して習得するゼミナールです。

「離床アドバイザー」は、離床に関する知識・技術を習得し積極的に離床を図れるレベルと評価されます。

また、自分ひとりではなく、同じ目標を持った多施設・多職種の仲間と一緒に学べることが本ゼミナールの特徴です。

ゼミナールでは、施設でリーダーシップをとり、率先して離床を進めることのできるモビライゼーション（離床）リーダーを育成します。このリーダー養成コースは世界に認められる教育システムです。

自己研鑽を積んで素晴らしい臨床家を目指してください。

日本離床学会
代表理事 曷川 元



目次

1. 教育課程（カリキュラム）	4
1-1 目的	4
1-2 ゼミナールの目的	4
1-3 教育課程の仕組み	5
1-4 単位制度	5
1-5 単位補充制度	5
1-5-1 スクーリング・フォローアップへの参加	5
1-5-2 インターネットセミナーレポートの提出	6
1-5-3 その他	6
1-6 学期	6
1-7 修了式	6
日本離床学会教育システム 講義時間数の目安	7
2. 修学上の注意事項	8
2-1 ゼミナール生同士のコミュニケーション	8
2-2 ゼミナール生への連絡方法	8
2-3 退学	8
2-4 除籍	8
3. 講座申込み・受講方法について（変更 2023 年 1 月 31 日より）	9
3-1 講座申込み（変更 2023 年 1 月 31 日より）	9
3-2 講座受講方法（変更 2023 年 1 月 31 日より）	9
3-3 講座履修単位（変更 2023 年 1 月 31 日より）	9
3-4 欠席・キャンセルの連絡（変更 2023 年 1 月 31 日より）	9
3-5 休講	10
3-6 講座単位認定	10
3-7 その他	10
4. 離床アドバイザー習得要件	11
4-1 履修単位の管理	11
4-2 認定方法	11
5. おしらせ	12
5-1 日本離床学会会員	12
5-1-1 インターネットセミナー動画視聴	12
5-1-2 学会誌「早期離床」進呈	12
5-1-3 学会相談サイト利用	12
5-2 ゼミナール学費引き落としについて	13
5-2-1 引き落とし不能について	13
6. 離床アドバイザー認定後	14
6-1 講師コース	14
6-2 一般市民教育コース	14
7. よくある質問	15
8. 継続ゼミナールのお知らせ（変更 2023 年 1 月 31 日より）	16
8-1. 継続ゼミナール	16
8-2. 継続ゼミナールとは	16
8-3. 継続ゼミナールの特典	16
8-4. 詳しいご案内	16

1. 教育課程（カリキュラム）

1-1 目的

日本離床学会の教育目標は「安全な離床とは何かを真摯に考え、適切な時期に離床を実施できる臨床家の育成」です。高度な学術研究で研鑽を積み上げ、さらに地域市民に対する啓発活動の拠点から、世界へ最新の見識を発信していく情報発信基地として社会に貢献することをねらいとしています。

1-2 ゼミナールの目的

日本離床学会では、離床に特化した高度な知識や技術レベルをもつスタッフ育成のため、臨床で必要とされる知識・技術の基準を満たしたものに対し、離床アドバイザーの資格認定をしています。離床アドバイザーの資格を習得することによって更に上位の“離床インストラクター”試験に挑戦することができます。試験に合格し、離床インストラクターになると、当会講師メンバーとして全国の離床に関する教育活動に参加する講師コース、患者・家族を含む一般市民の離床の啓発に関わる活動に参加する一般市民コースに登録することができます。

そのインストラクターの前段階としての認定資格がアドバイザー資格となります。離床ゼミナールでは離床アドバイザーの資格を1年のコアカリキュラムによって基準の単位数を修得することを目指します。

【理論コースの目的】

本コースは離床に必要な理論や知識を習得することを目的としています。離床に関する概論、解剖・生理学的知識、リスク管理に必要な知識を学習します。また各論講座では、人工呼吸器などの機器使用に関する知識、心電図波形、心エコー、血液ガスデータ、生化学データ、X-P画像といったデータ読解の知識、フィジカルアセスメントの診方など、臨床で必要とされる様々な知識を学びます。自身で根拠をもって離床を推進でき、かつ多職種との信頼関係のもと、話し合いや協力を通し、最新の医療知見に基づいたケア・リハビリテーションをチーム連携で成し遂げられることをねらいとしています。

【実技コースの目的】

本コースは実際に離床を促すための技術を習得することを目的としています。体位変換・移乗動作などの段階的な離床を推進するために必要な方法を学びます。またリスク管理に必要な症状別のフィジカルアセスメント、呼吸介助や排痰技術などテクニカルな手技を実技形式で学習します。さらに人工呼吸器の使用法やDVT・リンパ浮腫の弾性ストッキングの着脱法など、臨床現場に特化した実技を学ぶこともできます。臨床で自信をもって離床の実践ができるとともに、多職種への離床技術の共有、円滑なチーム医療の遂行を行えることを目標とします。（2020年より感染症対策としてオンラインでの実技講習を行っています。）

1-3 教育課程の仕組み

教育課程（以下カリキュラム）とは、離床アドバイザーの教育目標を達成するために、個人の臨床経験や技能、学習過程に応じて構成される教育内容計画のことです。それぞれ教育内容ごとに、臨床で十分な知識や技術が活用できるレベルに習熟できると考えられる必要な時間数を設定しています。（[日本離床学会教育システム 講義時間数の目安 P7 参照](#)）

本ゼミナールで離床アドバイザーを習得するには、本ゼミナールを1年間受講し、所定の単位である計14単位を修得しなければなりません。カリキュラムは、理論コース、実技コースのふたつから構成されており、単位修得にはそれぞれ必要な単位数が定められています。離床アドバイザーを習得するには、理論コース7単位かつ実技コース7単位修得する必要があります。もし1年間ゼミナールでアドバイザーを習得できないと予測される場合でも、補充単位によって単位を修得できるシステムがあります。

1-4 単位制度

アドバイザー習得には単位修得が必要です。ゼミナール生は受講する講座の履修登録を行い、講座に参加することで、その講座に応じて設定された単位数を修得することができます。定められた履修方法に基づいて各講座を履修し、アドバイザーに必要な単位を修得することになります。

当会の1単位の講座は5時間以上の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。

科目区分	講座時間数	修得単位数
共通コース	6時間	理論・実技各1単位
理論コース	2-13時間	0.5-2単位
実技コース	2-13時間	0.5-2単位

1-5 単位補充制度

アドバイザー資格習得に必要な単位数を講座受講で満たすことができない、またはそれが予想される場合下記の方法で単位を補完することができます。

i	スクーリング・フォローアップへの参加	2単位
ii	インターネットセミナーレポートの提出	上限2単位

1-5-1 スクーリング・フォローアップへの参加

ゼミナール生限定で行われるセミナーです。講座で学んだ技術を総復習し、臨床活用できるテクニックを身につけることを目的としています。スクーリング・フォローアップの受講で2単位修得することができます。詳細は当会事務局よりメールで連絡します。その際に履修登録を行うことで参加することができます。

1-5-2 インターネットセミナーレポートの提出

日本離床学会ホームページ上、会員が視聴できるインターネットセミナーのレポートを作成・提出し一定基準を満たすことによって補充単位を修得できます。

インターネットセミナーレポートは動画内容30-60分の視聴に加え、レポート作成に必要な60分を自学学習時間として設けており、計3本のレポート作成で講座時間と同等の6時間（1単位）に達するよう考慮されています。

レポート提出の詳細は下記をご参照ください。補充単位はレポート3本に対し1単位の付与となり上限は2単位です。

レポートは、タイトルを「【動画タイトル】について」とし、所属、氏名、メールアドレス（必須）を記載ください。本文は1400字以上とします。添削基準は動画内容をまとめた内容に加え、「自身で調べたこと」、「最も印象に残ったこと」、「臨床での今までの考え方」、「動画を視聴し変わった考え方」、「臨床でどう活用できるか」また「臨床で活用する際の問題点」の記載があるか、となります。提出の際は当会事務局宛に郵送、メールまたはFAXにて行ってください。添削結果は提出確認後、添削し1-2週間を目安にメールで連絡します。3週間待っても返信が来ない場合は当会事務局まで連絡ください。

1-5-3 その他

離床アドバイザー1年取得ゼミナールに入る前に受講した日本離床学会教育講座の履修単位をアドバイザー認定時に利用することができます。

1-6 学期

本ゼミナールの学期は2023年1月1日より2023年12月31日までと定めます。

1-7 修了式

修了式は12月に行います。アドバイザー習得に必要な単位数を満たした者または予定者にアドバイザー資格の認定を行います。必要単位を満たせなかった者には1年ゼミナールの修了証のみの授与となります。単位の履修は計画的に行うよう管理してください。

日本離床学会教育システム 講義時間数の目安

理論コース	講義概要	時間	実技コース	講義概要	時間
基礎理論プログラム	早期離床のエビデンスとコンセプト	5	基本実技プログラム	早期離床技術のエビデンスとコンセプト	5
呼吸機能の解剖・生理	人がなぜ呼吸をするのか？ ガス交換のメカニズム	7	呼吸（フィジカルアセスメント）	呼吸苦・リトラクション・ラトリング・気管支呼吸音・肺泡呼吸音・副雑音・打診音	5
人工呼吸器ケア	人工呼吸器の適応・仕組み・パラメータなど	7	循環（フィジカルアセスメント）	血圧・脈拍数・頸静脈怒張・手足の冷感・湿潤・心音	5
鎮静・せん妄	鎮静・せん妄・離床の関係	5	消化器（フィジカルアセスメント）	腹水・ガスの貯留の理解、肝腫大・脾腫のアセスメント、腸閉塞のアセスメント	3
酸素療法	酸素療法の目的・投与器具	5	運動器（フィジカルアセスメント）	運動機能のスクリーニング、バランステスト	3
呼吸器疾患の理解とケア	呼吸不全・肺炎・気胸・肺水腫など	5	急変対応	急変対応・対処・報告	5
循環の解剖・生理	体循環と肺循環 血圧の3因子・前負荷・後負荷	7	体位変換（上方移動・側方移動）	段階的離床の準備、呼吸器合併症予防・改善	3
心電図検査	心電図検査の目的・正常と不整脈	7	体位変換（前傾側臥位）	呼吸器合併症予防・改善、排痰目的、ポジショニング	3
心臓血管外科術後	術式の適応・理解、術後ケア・リハなど	5	体位変換（腹臥位）	呼吸器合併症予防・改善、排痰目的、ポジショニング	3
循環器疾患の理解とケア	循環不全（ショック）・起立性低血圧など	5	移乗動作（起き上がり・立ち上がり）	移乗動作前の環境設定と患者指導のコツ、立ち上がり動作のメカニズム	3
骨・関節・筋	骨・関節・筋の構造・触診	5	移乗動作（部分介助）	膝ブロック法、Hold&Cover法、背後からの介助など	3
骨・関節系疾患の理解・ケア	骨折・変形・術後・ケアなど	5	移乗動作（全介助）	膝持たれ法、抱え込み法、二人介助など	3
脳神経系の解剖・生理	脳脊髄液・脳循環自動調節能・脳卒中病態など	7	呼吸ケア手技1	呼吸介助手技の適応と技術指導	3
高次脳機能障害	高次脳機能障害に対する理解・ケアなど	7	呼吸ケア手技2	排痰法（ハフティング・ACBT）	3
嚥下栄養	嚥下基礎知識・嚥下アプローチ	5	関節可動域運動1	リラクゼーション実施目的の理解・技術指導	3
検査・データ1	血液データ（炎症値・腎機能・肝機能・糖尿病など） 血液ガスデータ（P/F比・酸塩基平衡の理解・病態）	5	関節可動域運動2	ストレッチング法の実施目的の理解・技術指導	3
検査・データ2	疾患別画像読影（X-P・CT・MR・エコーなど）	7	関節可動域運動3	関節可動域運動の実施目的の理解・技術指導・End feelの理解	3
各疾患治療薬	強心薬・降圧剤・抗不整脈薬・血管拡張薬・抗血小板・抗凝固薬・利尿薬・睡眠導入薬・鎮静薬・鎮痛薬・気管支拡張薬など作用・副作用	5	病棟リハビリテーション1	床上での運動指導と留意点	3
合併症	深部静脈血栓症（DVT）・リンパ浮腫の病態理解・ケア がん・周術期に対する病態理解・ケア	5	病棟リハビリテーション2	寝返り動作獲得の指導と留意点	3
重症患者の離床	人工呼吸器装着患者の離床の留意点	5	病棟リハビリテーション3	起き上がり動作獲得の指導と留意点	3
離床プログラムの立案	離床の阻害因子と離床レベルの設定、 離床の効果判定	5	病棟リハビリテーション4	端座位バランス向上の指導（リーチ動作）と留意点	3
リスク管理	各病態における離床の開始基準と中止基準	5	病棟リハビリテーション5	立ち上がり動作獲得の指導と留意点	3
症例形式によるシミュレーション	各疾患の症例検討	5	病棟リハビリテーション6	立位バランス向上の指導と留意点	3
理論コース履修時間		35	実技コース履修時間		35

2. 修学上の注意事項

2-1 ゼミナール生同士のコミュニケーション

ゼミナール生は同じ目的や思いを持った仲間です。

我々医療・福祉の業界は、施設同士の横の繋がりをもちづらい環境にあるため、このゼミナールの仲間はとても貴重な存在となるはずです。年間を通して講座などで顔をあわせる機会も多くなりますので、この機会に積極的に交流をもち、臨床での情報交換や悩みを共有してください。施設や職種の違う仲間の意見や情報はきっと役に立つと思います。

対象講座で、ゼミナール生専用の席を極力設けますのでご活用ください。またプライベート交流時のトラブルには当会は一切関与致しませんのでご了承ください。

2-2 ゼミナール生への連絡方法

ゼミナールに関する日本離床学会からの連絡は原則メールとなります。

ゼミナールのスケジュールに関すること、単位認定に関すること、提出物に関することなど、ゼミナールを円滑に遂行するために必要な情報を連絡します。見落とすとゼミナール遂行に支障をきたす恐れもあるので注意してください。

また当会からのメール（jsea@rishou.org）が必ず受信できるよう各自メールの受信設定を予め確認してください。

2-3 退学

都合により退学の手続きを取る際は、当会事務局に連絡をしてください。

途中解約する場合、以下の2点の申請・支払いを行ってください。

1. 途中解約の申請は解約希望月の1ヶ月前に事務局に連絡をしてください。
2. 解約を希望する場合には、解約金10,000円に加え、ゼミ開講から解約月までに受講した講座の正規受講料との差額を支払うことで解約が可能です。

なお、年払いの方は、原則ご返金できませんのでご了承ください。

2-4 除籍

所定の学費を期日までに引き落としができない場合、「除籍」となります。

3. 講座申込み・受講方法について（変更 2023 年 1 月 31 日より）

3-1 講座申込み（変更 2023 年 1 月 31 日より）

ゼミナール生対象講座を受講するためには、履修申込み手続きは不要です。対象講座は事務局より開催数日前に、当日受講の URL が送付されます。見逃し受講については、原則開催後 1 週間以内に視聴 URL とパスワードを送付されます。

3-2 講座受講方法（変更 2023 年 1 月 31 日より）

オンライン受講時は、講座当日の URL 案内メールに記載された「ユーザーID」を名前の代わりに使用し受講してください（フルネームで参加も構いません）。現地（会場）開催時には、「ユーザーID」の番号を受付でお知らせください。

3-3 講座履修単位（変更 2023 年 1 月 31 日より）

当日受講（オンライン）参加



当日の出席確認で単位が認められる。

見逃し受講（オンデマンド）参加

見逃し受講期間 2 週間あり

12/3 名探偵歯車と学ぶ 離床のリスク管理～患者を絶対キケンな目にあわせないためのメソッド～ ゼミナール生アセスメントシート

氏名 *

回答を入力

「アセスメントシート」に回答することで受講単位が認められます。

※講座当日（オンライン）参加

講座当日の参加者には、Zoom のチャット機能に、講演中のどこかで出席確認の Google Forms の URL がリンクされます。「氏名、または申込 ID」を入力することで履修単位が認められます。

※見逃し受講期間（オンデマンド）参加

ゼミナール生ページ（<https://www.rishou.org/zemipage-2023#/>）に記載のあるアセスメントシートに回答することで、履修単位が認められます。アセスメントシートの提出がない場合は、履修登録（受講申込）をしても、単位が認定されませんのでご注意ください。

※講座当日に参加された方は、アセスメントシートの入力不要となります。

3-4 欠席・キャンセルの連絡（変更 2023 年 1 月 31 日より）

当日欠席の連絡は事務局に連絡は不要となります。

また本人以外の代理受講はいかなる理由があっても一切認められません。

3-5 休講

自然災害等の影響など、やむを得ない理由により、講座開催が変更となる場合は、日本離床学会ホームページインフォメーションに最新情報を随時更新しますのでご確認ください。また非常時の際は、各担当講師が指示を出しますので、その指示に従ってください。

3-6 講座単位認定

ご自身では、マイページの「資格取得までの単位数」を参考にしてください。

※履修単位の反映には、2週間から1ヶ月ほどかかることがございます。



3-7 その他

各講座で講座資料とともに参加証明書・領収書を渡しますが、支払い金額と異なるためゼミナール生は使用できません。別途ゼミナール学費における領収書が必要となる場合は、事務局まで連絡ください。

4. 離床アドバイザー習得要件

離床アドバイザーは、「離床をすすめるために必要な専門知識・技術を有し、周囲のスタッフに対し適切な助言ができる能力を有する者」と定めています。そのために必要な知識・技術を満たすための十分な技能がえられるよう、単位修得要件は組まれています。ゼミナール生はこの修得要件を満たせるよう計画的に受講スケジュールを自身で組まなければなりません。

離床アドバイザー習得に必要な条件は理論講座7単位、実技講座7単位の修得です。日本離床学会で現在開催されている講座は次頁（[日本離床学会講座一覧](#)）を参照ください。また開催講座は、日付、講座内容が変更となる場合があります。最新の情報は日本離床学会ホームページをご覧ください。

4－1 履修単位の管理

履修単位の管理はコース修了申請書を参考に各自で行ってください。コース修了申請は、日本離床学会のホームページ「認定試験・資格ページ」から離床学会技能認定2級アドバイザー申請フォームを使用してください。また、ゼミナール生になる前の受講歴も単位として認められます。

4－2 認定方法

所定の単位を満たすと離床アドバイザー資格を習得することができます。離床アドバイザー認定者には修了式に離床アドバイザー認定証とバッジが授与されます。所定の単位数を満たした場合、事務局にて判定し、12月に修了証とともに離床アドバイザー認定証を郵送します。

認定を行う際には以下の条件を確認いたします。

必要条件：「所定の単位を取得すること」と「当会会員であること」

※会員は年会費¥4,900（クレジットカード登録または銀行振替口座登録）が必要となります。

申請時に、

既に会員の方：12月初旬に離床アドバイザー認定証を郵送します。

会員未登録の方：11月中に会員登録を行ってください。12月初旬に離床アドバイザー認定証を郵送します。

※1年で必要単位数を満たせない場合は、ゼミナール修了後の次年度以降も修得した単位数を活用できます。

5. おしらせ

5-1 日本離床学会会員

離床アドバイザー認定時には、日本離床学会会員である必要があります。
年会費は4,900円です。1年間での登録となり次年度以降は自動更新となります。
会員になると様々なサービスを受けることができます。
ゼミナール生申請時には必ずしも会員である必要はありません。

5-1-1 インターネットセミナー動画視聴

公式テキストや講座にちなんだ動画を配信しています。また年に一回行われる全国研修会の一部内容を編集した配信も行っています。講座受講前に関連動画を視聴すると講座の理解が深まります。

また単位取得が思うようにいかず、単位不足が予測される際に、動画を視聴しレポートを提出することで、補助単位を充当することができます。動画レポート3本につき1単位、上限2単位まで申請することができます。

5-1-2 学会誌「早期離床」進呈

毎年年末1回離床に関する最新情報を掲載した学術情報誌をお送りしています。

5-1-3 学会相談サイト利用

臨床や講座で疑問に思ったこと、意見を聞きたいことなどを聞ける、フリー掲示板を利用することができます。

※会員サービスの内容は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

5－2 ゼミナール学費引き落としについて

- (1) 毎月27日（金融機関休業日の場合は翌営業日）に、指定の金融機関の口座・クレジットカードより学費 8,800 円（税込）が引き落とされます。

※クレジットカード決済の場合のみ、毎月27日前後となり、事前に決済日をメールにて案内いたします。

- (2) 引き落としの前日までに入金を済ませておいてください。
- (3) 引き落としができない場合当会事務局から連絡することがあります。

5－2－1 引き落とし不能について

- (1) 万一、残高不足になると引落不能となります。やむを得ず納入が遅れる場合は、必ず事務局までご連絡ください。
- (2) 引き落とし不能となった場合、翌引落月に2回分を引き落とします。

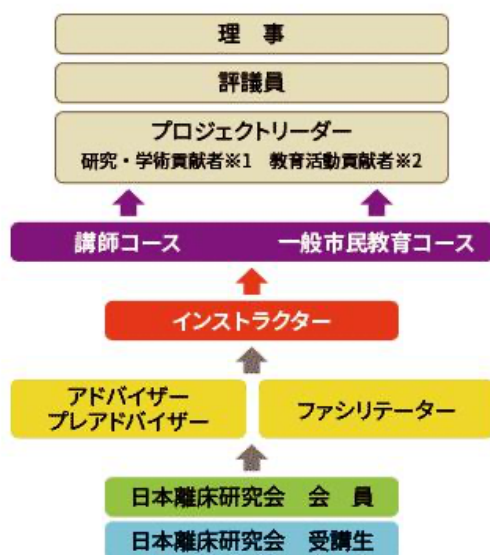
6. 離床アドバイザー認定後

離床アドバイザーになると日本離床学会より「離床に関して周囲のスタッフに適切な助言ができる知識・技術をもつ者」として認められます。また離床アドバイザー習得者は、次年の離床インストラクター試験に挑戦することができます。離床インストラクターは「離床するために必要な卓越した知識・技術を有し、自ら率先して各施設や地域で教育活動ができるものに与えられる資格」であり、離床アドバイザーの上位にあたる資格のことをいいます。

離床インストラクター試験は年1回全国各地で行われる筆記試験と実技試験があります。筆記試験、実技試験どちらにも合格すると離床インストラクターとして認定されます。

離床インストラクターになると、当会講師メンバーとして全国の離床に関する教育活動に参加する講師コース、患者・家族を含む一般市民の離床の啓発に関わる活動に参加する一般市民教育コースに登録することができます。（下図）

当会では、「現状をよりよく変化させたい」と向上心をもつ方をバックアップし、その積極性を育み、社会貢献を目指す人材登用を行っています。



6-1 講師コース

当会教育講座の講師としてプレゼンテーションを実践しながら、人に伝える技術のステップアップを目指すコースです。個々の適性を判断し得意分野や領域の講座を担当し、ときに実技指導を行います。日本離床学会の特徴である「わかりやすい」プレゼンテーションを習得し、プロの医療者を教育したいという志を当会講師陣がサポートします。

6-2 一般市民教育コース

当会の理想は、医療者が患者に離床機会を提供するだけでなく、患者自ら離床の重要性を深く理解し、入院後自ら起きる意識や文化をつくることにあります。当会は、市民講座をはじめ様々な活動を通して地域社会に貢献し、一般市民に離床の啓発を行う人材育成に力を入れています。

7. よくある質問

- Q. ゼミナール参加前の受講単位は、離床アドバイザー申請に反映されますか。
- A. はい、反映されます。
- Q. 1年で離床アドバイザー認定に必要な単位が取得できません。
- A. ゼミナールで取得した単位は翌年以降も引き継ぐことができます。必要単位に達した時点で、改めて認定申請をしてください。
- Q. 修了式に参加できない場合は認定証の受け取りはどうなりますか。
- A. 修了証等は、郵送にて授与します。
- Q. 2日間の講座に1日のみしか参加できない場合はどうなりますか。
- A. 参加は可能ですが、単位は認められません。
- Q. 途中退学の場合、単位はどうなりますか。
- A. いかなる場合も一度納入された学費は返還されませんが、受講した講座は正規受講料との差額を納めることで単位は認められます。

8. 継続ゼミナールのお知らせ(変更 2023 年 1 月 31 日より)

8-1. 継続ゼミナール

1 年取得ゼミナールの修了生から、学びを継続したい、1 年では単位を取得できない、といった声が届きましたので、継続ゼミナールを用意しています。

8-2. 継続ゼミナールとは

ゼミナール 2 年目以降の方が、以下の 2 つのコースを選択して、ゼミナールを継続できるものです。

【月 8000 円・月 5000 円の 2 コースを準備】

○月 8000 円コース

・ゼミ生対象講座に加えて、希望の講座を 1 講座受講することができる

○月 5000 円コース

・希望の講座を 1 講座受講することができる

8-3. 継続ゼミナールの特典

- ・ゼミサロンの参加権利
- ・集中合宿の優先申込み
- ・ゼミオープンチャットへの参加 など

8-4. 詳しいご案内

年末に、1) 8000 円継続、2) 5000 円継続、3) 退ゼミナール、の 3 つの選択を伺います。

改訂：2023 年 1 月 31 日



臨床を元気に！ 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラールビル2階

TEL: 03-3556-5585 FAX: 03-6272-9683

Email: jsea@rishou.org HP: <https://www.rishou.org/>